

《朝》  
自然な人物表現と色彩について  
《Morning》  
Natural human representation and color

1721M01  
金城 未来  
Miki KINJO

崇城大学大学院芸術研究科美術専攻 平成30年度修了生  
Division of Fine Art, Graduate School of Art, Sojo University

本修了制作では、自然な人体表現と色彩について研究を行い制作を行った。

はじめには、本作《朝》に関する内容について述べている。本作は人物の居る室内風景を描いたものである。構成として特徴的であるのは、モデルの生活する日常的な生活の風景の一部とその動作を描いているものであり、背景の中にどのように人物を配置するか、また人物のどの瞬間を切り取り何を考えているのかなどの課題に至った経緯や、絵の中で人物がより自然な日常を送り、リアリティを感じるような作品作りを目指した修了制作の《朝》を制作するきっかけや、稿者が学部時代に興味を持ったものが今回の作品にどのように影響しているかなどを述べている。

次に1. 自然な人物表現については、初めの部分で述べた人物表現に関しての内容を自然な人物表現について掘り下げて述べており、学部時代に描いていた人物画と本修了研究にて行う人物画における自身の考え方の変化等を述べている。

次項2. 修了制作《朝》についての部分では本作を制作するにあたり、重要な部分について3つに分けて述べている。(1) エスキース (2) 背景やモチーフの配置と構図 (3) 色彩と陰影の順序で構成している。(1) エスキースでは、本策を制作するにあたり、エスキースの段階による構図の決め方などについて、モデルである彼女の性格であったり、趣味や好みなどをそのマンションの部屋の中の箱にたくさん詰め込むことと、はじめにでも述べたように自然な人物の表現かつリアリティを感じることのできる構図を選びたいと考え制作を行ったことを述べた。(2) 背景やモチーフの配置と構図と (3) 色彩と陰影の二つでは、作品の中の部分部分について意識していることなどをまとめており、稿者が画面を構成する上で人物をより自然に見せるために必要な人物周りの背景やモチーフなどをどう表現すべきかという配置と構図に関してと、人物画という人物がメインの中での手先や表情等についてを述べている。